

川並鉄工のご紹介

川並鉄工の創業は1904年(明治37年)です。

120年に渡り京都にて金属に携わる仕事を続けてきました。時代の変遷、めまぐるしいニーズの変化に合わせ、業態を変えながら、現在も卓越した加工サービスをご提供しています。

この長い歴史は、企業の安定性、知恵の経営、技術力の高さを物語っています。経験豊富な技術者が最新の技術を駆使し、多種多様な加工を可能にしています。

現在は五面門型マシニングセンタを主とし、大型且つ高精度な切削加工のご提供をしています。防衛・発電関係、特装車や大型医療装置、半導体といった分野でも高い評価を頂いております。また長年、品質管理、美観にも力を入れており、多くの企業の信頼を得て、多くの加工品を納めてきました。

お客様のご要望に合わせて柔軟に対応し、満足と感動を提供することを使命としています。今後も技術革新・顧客サービスの向上・人材育成に努め、豊富な経験と創意をもって社会に貢献し続けていきたいと思っています。

創業期 (金物屋～自社開発時代)

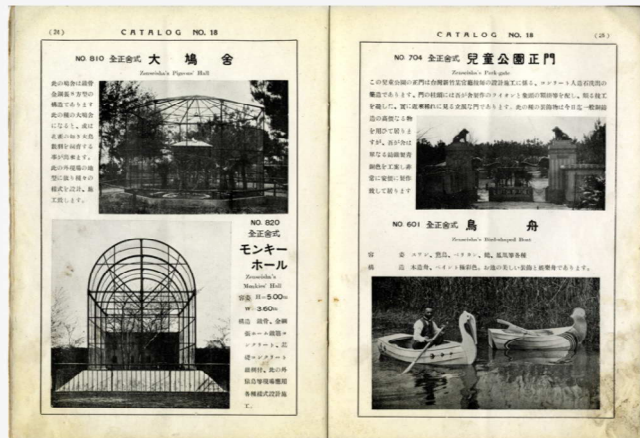
創業120年目

明治37年川並鉄工所として町の金物屋から始まる
木屋町の旅館の便利な金物屋さん、水道工事など

遊戯運動器具の開発製造及び公園施設の製造を行う
当時は遊園地ごと受注することも 土木・動物園・遊具etc



創業の地 河原町松原



発展期 (下請け時代)

昭和～平成

昭和63年
門型五面マシニングセンターを導入し大型部品加工の下請けで発展



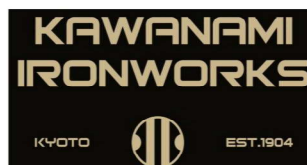
第7回森精機
切削加工ドリムコンテストで金賞受賞
大型三次元加工の技術を世界にアピール



川並鉄工株式会社 沿革

2024/02/13

元号	年	西暦年	事項
明治	37年	1904	河原町松原で鍛冶作業、建築金物を扱う川並鐵工所として2代目川並米造が継承
明治 ~ 大正		1904 ~1912	随時工作機械設置、製菓機の製造販売と併せて運動部設置。
大正	14年頃	1925	工場を大石橋へ移転。
大正 ~ 昭和初期		1912 ~1939	遊戯運動器具の開発製造及び公園施設の製造を行う。
昭和	13年	1938	現在地、東九条西山町へ移転。
昭和	14年	1939	第二次世界大戦の影響(出征・金属類回収令等)で開店休業状態。
昭和	20年	1943	機械加工部を創設 切削加工の請負を始める。
昭和	42年	1967	2代目米造が死去。3代目正造が事業を継続。
昭和	42年	1967	株式会社化し社名を川並鉄工株式会社とする。
昭和	63年	1988	3代目正造が死去。4代目宏造が事業継続、社長就任。
昭和	63年	1988	門型五面マシニングセンター導入。
平成	17年	2005	KES環境マネジメントステップ2登録。
平成	19年	2007	第7回森精機切削加工ドリムコンテストにて金賞受賞。
平成	21年	2009	サポイン事業(経済産業省)採択を受け摩擦攪拌接合研究開始。
平成	21年	2009	建築用デザインパネル「刻鋳」開発開始。
平成	22年	2010	京都デザイン賞商工会議所会頭賞受賞。
平成	22年	2010	関西デザイン撰に選定(近畿経済産業省)。
平成	25年	2013	「刻鋳」製造特許取得。建築業界向けに製造販売を開始。
平成	28年	2016	「刻鋳」アメリカ合衆国製造特許取得。
令和	2年	2020	京都府中小企業「知恵の経営」実践モデル企業に認定。
令和	2年	2020	京都府産業功労者表彰受賞。
令和	3年	2021	第1回「知恵-1グランプリ」チャレンジ部門初代グランプリ受賞(京都商工会議所)
令和	4年	2022	第66回京都府発明等功労者表彰優秀賞受賞。
令和	6年	2024	令和5年度「京の老舗表彰」受賞

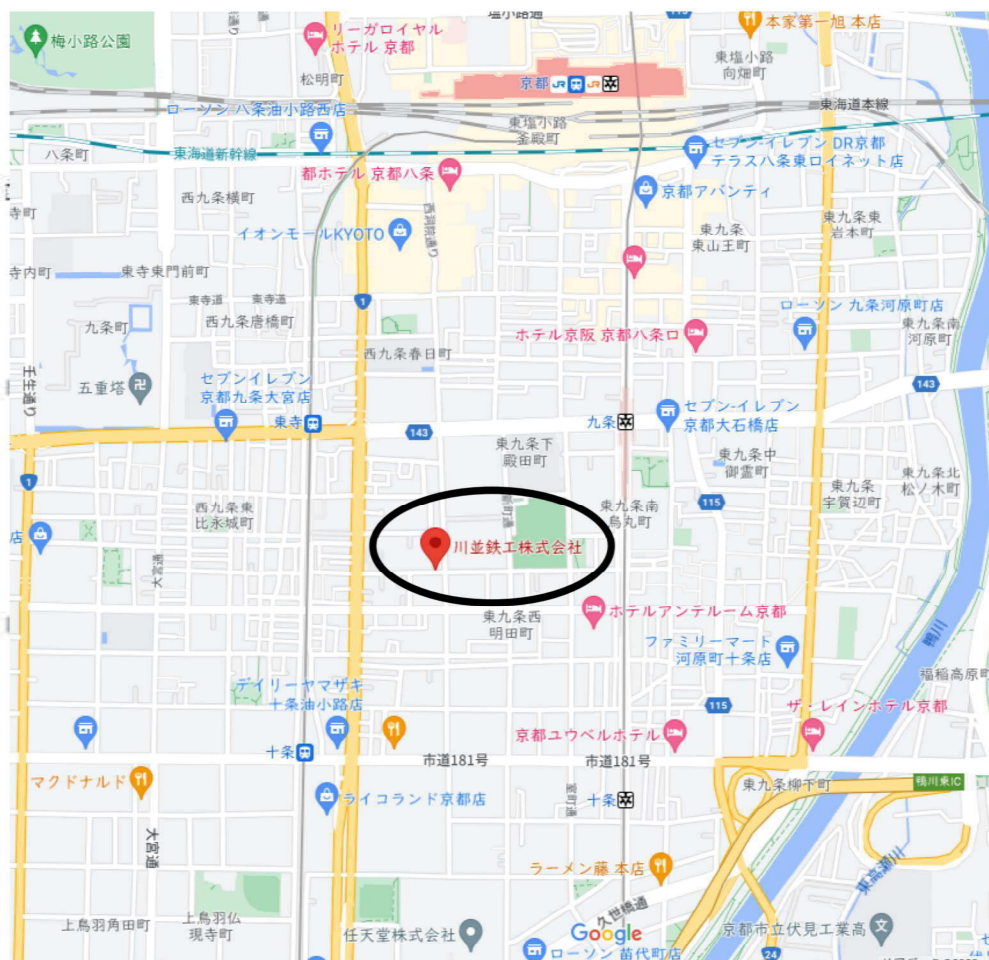


info@kawanami.21.jp.com

会社概要

会社名	川並鉄工株式会社
設立	昭和42年5月10日（創業 1904）
所在地	〒601-8046 京都市南区東九条西山町 10 番地
TEL	075-(681)-1704
FAX	075-(681)-1705
URL	http://kawanami-metal.jp
メール	info@kawanami.21jp.com
資本金	1000 万円
役員	代表取締役 川並宏造：専務取締役 川並良造
スタッフ	6名
取引銀行	京都銀行 東九条支店・京都中央信用金庫 十条支店

アクセス



JR 京都駅より徒歩15分（新幹線降りて15分）

名神高速京都南より車で10分

阪神高速上鳥羽より車で5分

周辺には東寺、京都タワー、京都水族館、NINTENDO 等があります。

当社の強み

実績豊富な当社におまかせください！

大型加工の技術力

門型五面加工機や立型・横型マシニングセンタを用いた大物機械部品の精密な切削加工を得意としています。



- ✓ ワークサイズは4200mm×2500mm×1300mm程度まで加工が可能です（X・Y・Zテーブルベース）。テーブルからはみ出すような長尺物でも加工範囲や内容によっては加工出来る場合がありますので、まずは一度お問い合わせ下さい。
- ✓ 3次元CAD/CAMを導入していますので、市販の工具では規格にない数値のテーパ・R形状から複雑な3D加工にも対応しております。
- ✓ NC円テーブル（サーキュラーテーブル/ロータリーテーブル）を保有しておりますので、マシニングセンターと組み合わせて加工する事で、円筒形状をした長尺部品（サクシヨンドラム・ロール・シャフト等）の割り出し、多穴加工、溝入れ加工も可能です。

事業の3本柱

機械部品の切削加工で長年培ってきた技術や、精密な加工を可能にする設備をベースに新たな事業を横展開しています。



大型機械部品の切削加工

摩擦攪拌接合（FSW）

金属造形デザイン「METALSPICE（メタルスパイス）」

どのような加工が可能ですか？

- ワークサイズは4200mm×2500mm×1300mmまでの加工が可能です。
- 材質は鉄・アルミ・SUS・~~鋳物~~・CFRPやインコネルといった加工実績あり。
- 3D加工にも対応します。
- 液晶、半導体設備関係、医療機器などのベース、フレーム、溶接構造品
- 大型で精密な加工が必要なものを得意としています。
- 製缶業者様の機械加工のパートナーとしても便利に使って頂いてます。

大物部品の精密加工を可能にする工作機械



川並鉄工では大型五面加工機と立型及び横型マシニングセンター、並びに各種CAD/CAMといった設備を用いて主に産業用機械部品等の金属加工を行っております。小物から中物・大物部品まで、精度の高い機械加工を提供いたします。五面加工機での加工は工程削減や多面加工を1チャックで行うことで精度の高い加工が可能です。また、立型に加え横型の設備もございますので更に幅広い加工に対応可能です。5度割り出し可能な工作機械設備と3次元CAD/CAMを駆使して、角度がついた加工やRのある複雑な3D加工もこなします。

主要設備一覧

メーカー	機械タイプ	機種名	サイズ	備考
新日本工機	門型5面加工機	RB-260M	2600X4000	ヘッド5度割出
新日本工機	門型5面加工機	RB2N-M	1200X2500	2パレット
新日本工機	門型マシニングセンター	RB1N	1000X1800	
丸福鐵工	門型5面加工機	OFC-40150H	1650X4000	
東芝機械	横型マシニングセンター	BTD-11R16	1400X1600	

